

第24期・第4回 法学委員会議事要旨

日時： 2019年4月25日（木） 12:40～13:30

会場： 日本学術会議 5-C（2）会議室

出席者： 亀本洋、佐藤岩夫、白藤博行、土井政和、中谷和弘、廣瀬真理子、◎松本恒雄、
三木浩一、三成美保、和田肇（◎は委員長）

欠席者： 高村ゆかり、高山佳奈子、糠塚康江、野澤正充、水野紀子（以上、敬称略・五十音順）

議事要旨作成者： 廣瀬真理子

議事概要

1. 2019年度予算と各分科会の開催回数・方法について

各分科会に平均して1.5回開催に必要な旅費、委員手当、会員手当を配分しているため、その予算の枠内で、旅費や手当の返上、スカイプ、ネット会議等を活用して、何回開催するかを、各分科会で決めることになった。

2. 分野別研究評価の実態調査について

アンケート回答の第一次案を作成した上で、メーリングリストで意見交換を行い、5月10日までに、法学分野について一定の見解をまとめることになった。

3. ダウンロード違法化の問題について

法学委員会主催でシンポジウムを開催するために、時期、会場、パネリスト等についての案をつくり、メーリングリストで意見交換をすることになった。

4. 法曹養成・法学研究者養成・法学部教育に関する報告案について

報告書のパートごとに、現在の案が配布された。ドラフティングチームで原案をまとめて、メーリングリストで意見交換を行う予定である。

5. 分科会の状況について

法学委員会と「IT社会と法」分科会の主催により、2019年3月27日に日本学術会議講堂で、「欧州一般データ保護規制（GDPR）に対する日本の学術界の対応」と題する公開シンポジウムが開催された。また、2019年4月6日には同講堂で、ジェンダー法分科会が主催する『男女がともにつくる民主政治』を展望する一政治分野における男女共同参画推進法の意義」と題する公開シンポジウムが開催された。

以上